

2008 年度第 4 回 L - ラーニング学習支援システム研究分科会記録

日時：2008 年 8 月 19 日（火）10：00-18：00

場所：麻布大学

出席者：阿部（東京歯科大学）、小田切（麻布大学）、金子（早稲田大学）
南雲（国際大学）、田代（日本女子大学：記録）

1. 事務連絡

11 月 14 日に研究分科会の交流会がある。各分科会 5 分間で中間報告をする。

アンケートのまとめとリポジトリのアピールをする予定。

助成金は 9 月の理事会で決定後、振り込みされる予定。

2. リポジトリに関するアンケートの集計結果（別紙 1 枚：小田切さん作成）

（1）状況・意見・感想

- ・登録ではなく閲覧のためにも ID/PW が必要と考えた館があったようである。登録するものが無いから B、無いけれど A、と分かれてしまったのは、予想して説明したつもりであったが不足だったようである。
- ・当分科会メンバー以外からの登録は、まだ一件もない。このままではコンテンツ集めとしてのリポジトリは成り立たない。
- ・コンテンツ登録に関しての責任の所在について問題となった可能性があった。機関ではなく個人登録だったら参加できるのかもしれない。
- ・システムに依存する帳票レイアウトの許諾申請は必要かどうか迷う。
- ・研修に使いたいという要望があった。何を想定しているのか、具体的には何を期待されたのかは不明（業務マニュアルか？）。
- ・互惠の面では、閲覧するにも ID/PW で限定する方がよかったかもしれないが、参加者が広く集まらない可能性があることと、使われる範囲が狭くなることが懸念される。
- ・アクセスログはサーバーをチェックすればわかるが、そこまではしない。
- ・登録希望者のメールアドレスがわかっているので、お礼を兼ねてアンケート結果をアップしたことをメールで連絡し、その本文で登録を促したい。
- ・アンケート結果はクロス集計をしないまでも数値を表にして分析した文書を作成する。
- ・「こんなものを入れてもいいのか」というものでも充分。カウンターシフト表も可。
- ・利用案内の PDF も可。
- ・XooNips がデータベースとして、調べたいときに使えるかどうか。全文検索が可能な点が有用である。

- ・リポジトリのコンテンツにより、学習支援システムが、これまでの理論の集合体
に実体加わる。
- ・機関リポジトリとオープンコースウェア（OCW）の関連性についてはカレントウェ
アネスなど記事があったはず。

(2) 今後の展開について

- ・アンケート結果は、トップページに配置する。
- ・そもそも、リポジトリを活用する利点の一つは、分科会メンバーからのコンテン
ツ収集では不足のため、他の図書館で作成した物を集める手段となることである。
- ・単なるリポジトリではなく、学習支援システムとして、もっと活用できるものに
する。
- ・検索は全文検索であるが、それだけではデータとして不十分。登録者が業務別の
項目のどれかに必ずチェックを入れてくれる訳ではない。管理者がデータを加え
る必要がある。
- ・体系別学習を1件ずつコンテンツに入れて、業務別アイテムとしてヒットさせる。
- ・インデックスツリーを増やす。これまでのコンテンツをどういれるかは継続検討
とする。
- ・分科会代表者メーリングリストで各分科会へ協力依頼する。
- ・ID/PWの個人（希望者）への配付をする。
- ・ユーザー名の命名規則は、大学は大学ドメイン名、分科会は分科会ディレクトリ
名、個人はkojin1~とする。
- ・体系別学習を分担してコンテンツ化する。その際のID/PWを決めた。
選書：南雲 受入：金子 雑誌全般：高野または田代 電子資料：阿部
ILL：小田切 図書館システム：阿部 参考業務：豊田
- ・今後のスケジュール及び宿題
8月中：体系別学習のコンテンツ化、帳票などさらに1件以上入れる。（全員）
登録促進メール文面たたき台作成（南雲） 分析たたき台作成（田代）
9月上旬：登録促進メール送信

3. 次回について

- ・次回日程候補：10月中旬早稲田大学

以上